





# 論奏

今、区内の西戸山第二中学校の三年生は家庭科の授業でフリースキャップ作り

に精を出している。フリースキャップというものは野球帽のような帽子らしい。男子も女子もミシンを使い、ひざし部分と頭部分の縫い合わせ、帽子らしいまるみ出し方などの難題と取組んでいる。実はこの帽子の材料である布地はペットボトル(ポリエチレン・テレフタレート樹脂の略)の再生品だ。その中で、実際の布はまだ見たことがないので、制作中の中学生の言葉を借りると、どちらかというとフェルト風。手ざわりはフェルトよりやわらかくて、いいかんじ。アイロン(中温)にも耐える。コストは高く、まだ生産量は少ない。というのがその全容だ。

彼らは帽子作りに挑む前に「衣生活を通して学ぶ生活の知恵」について学習している。「着物は最後まで使いつける」は一枚の着物が寝具やぞうきんになっていくリサイクル図が示され、「合成繊維の発明、発展、さらなる進化」の中でペットボトルの再生品である布が登場するというしくみだ。きちんとゴミの現状にも触れ、外国でのペットボトルの現状も取り上げていたそう。

帽子の製作を通して、ゴミ処理問題、リサイクル問題が楽しく系統だてて教えられていることに感心する。一ヶ月余りかけて完成した帽子は十一月四日の学芸発表会に展示される。今はコスト高の布だがりリサイクルがうまくいくようになったら就学児の黄色い帽子を作ってはどうだろうか。校章ではなくエコマーク付きの。

ペットボトルの現状を学習した中学生が二十歳を迎えるのは21世紀になった年だ。そんな彼らの前で消費者、メーカー、行政は「なるべく買わない、再利用、再生品の開発、利用」の各々の観点から、大人社会も努力している証を彼らに伝えていくことが必要だと想った。明日のリサイクル市民を育てるために。

高田馬場四丁目Mさん親子



「たくのは、帽子はイヴ・サンローランでランドセルはセリーヌですの...」 (漫画ゴミック「廃貴物」VOL1高月編著者朝日報より)

## 年末ジャンボリサイクルクイズ

- 問 次の記事のうち、間違っているものはどれでしょう?
- ① 飲料用ペットボトルはリサイクルするとYシャツになる。
  - ② 飲料用ペットボトルはリサイクルするとじゅうたんになる。
  - ③ 飲料用ペットボトルはリサイクルすると飲料用ペットボトルになる。

はがきにクイズの答えと、住所・氏名・年齢・電話番号・ご意見ご感想をお書きの上、「リサイクル推進課までご応募ください。正解者のなかから抽選で50名にリサイクルグッズを差し上げます。〆切は12月5日(消印有効)。発表は発送をもってかえさせていただきます。

### リサイクル生活-ロメモ

#### 「牛乳パックを衣類の整理の巻」

- ① 1.5リットル牛乳パックの空き容器を洗い乾燥したものを沢山用意します。
- ② タンスの引き出しに入るよう、牛乳パックを切りそろえ、接着します。
- ③ 靴下、下着、ネクタイ、ハンカチ等を丸めて収納します。

## 循環経済へ向うドイツの国

— 厳格な生産者責任 —

松田美夜子 (リサイクル研究家)

ドイツはこの10月7日、いよいよ「循環経済法」をスタートさせました。この法律はこれまでの「廃棄物処理法」を根本から組みかえたもので、これからのドイツの環境政策の基本法となります。この法律の理念は「循環の中で考える」こと。企業には厳しい生産者責任が課せられたのです。生産者の義務として、製品はその製造と使用の際に廃棄物の発生をできるだけ回避する。使用済みの製品はリサイクルが保証されるよう設計・販売をしなければならないという厳しいものです。これは基本法なので、個別に規制令がつけられていきますが、すでに先行しているのが大きな成果をあげている1991年に施行

## 世界のリサイクル事情 その13

された「包装廃棄物規制令」です。毎年、定点観測をしている、ボン、ケルン、デュッセルドルフのスーパーマーケットでは、訪れるたびに包装の単純化が進み、飲料売場では、規格びんが増え、それらは店に返金すると50円から30円のお金もどるシステムになっています。デュッセルドルフの目抜き通りには、今年は包装材(紙箱・包装紙・プラスチック容器)の分別専用コンテナも500mおきに設置され、システムづくりの進展はまさに、ドイツの人々の環境への深い関心の度合を感じました。今最も注目を集めているのが、「中古自動車リサイクル令」と「情報機器リサイクル規制令」です。自動車は、今年の2月、自動車工業界が自主規制を発表。法律でがんじがらめになる前に、循環経済法の意図にそい、中古自動車を少なくとも販売網と同じ密度で回収拠点を設置し、消費者から無料で廃車を引き取り、リサイクルすることを決めました。「情報機器リサイクル規制令」も制定が秒読みになっていますが、私はこの夏、そのなかでも最先端をいくシーメンス・ニクスドルフ社のパーソナルコンピュータのリサイクル工場を訪ねるのを楽しみました。この企業は、政令が施行される以前に政令に盛り込まれる内容をすでに全てクリアしていました。全ての機種を分解しやすい設計にし、基盤のチップも手作業で取り出し、ミックス素材を使わないことにより、回収したコンピュータ5383トンのうち740トン(13.8%)しかごみにしていませんでした。なぜ、そんな手間のかかることをと問うと、工場の最高責任者から「これは商品開発です。」という答えが返ってきました。21世紀の社会は、有害物を出さないか、リサイクル設計をしているかが購入の条件になると血のにじむ努力をしていました。企業の取り組みを支援するため、政府、自治体などの公共機関は、政令の条件を満たし、リサイクル率の高いものしか買わないというのもドイツの方針です。のんびりしている、と、技術開発に立ち遅れ、日本の製品がヨーロッパに輸出できなくなる。私は今年の旅で最も強くそれを感じました。

## 使ってみませんか再生品! 「みどりの夢23」

東京23区内で回収された古紙を使用している23区ブランドのトイレットペーパー、ティッシュペーパー(再生紙100%)。昨年の10月から販売が開始されて1年がたち、区内取扱い販売店のご主人に売れ行きや、再生商品についてのご意見ご感想を伺った。



- 塩素系漂白剤無使用 / ● トイレットペーパーは中芯無し / ● トイレットペーパーは130m巻 / ● 販売店のご主人と店頭風景。 / ● 23区ブランドのロールとティッシュを目立つところに置いてくれた。 / ● ロールよりティッシュの売れ行きが良いそう。お話を伺って、今後さらに値段や品質の改善を図る必要があると感じた。

編集後記 今回の再生品の紹介は、以前大変好評だった企画の第二弾です。いかがでしたか?紙面でご紹介したグッズの販売店をお知りになりたい方は、ぜひリサイクル推進課までお問い合わせください。紙面をご覧になっておわかりの通り、みなさんが協力して回収された有価物は開発が進み、とても良質な再生品に生まれ変わっています。同じものを買えば再生品にしましょう。次回再生品第三弾を予定しています。再生品に関する情報がありましたら、お知らせください。お電話・お手紙お待ちしております。